

Topics

みなみせんじゅとしょうかん  
南千住図書館・  
あらかわ 荒川ふるさと文化館  
たなばた 七夕まつり

たなばた 七夕の歴史を知ろう&  
たなばたかざり 七夕飾り作りを体験しよう

たなばた 七夕の歴史や由来についてのパネル  
を展示します。期間中、七夕飾り作り  
も行います。

期間 6月29日(金)~7月11日(水)  
会場 荒川ふるさと文化館1階

エントランス  
費用 無料

七夕まつり

七夕まつり 七夕まつりのお話や、パネルシア  
ターを行います。短冊に願い事を書いて  
笹に飾ります。

日時 7月4日(水)午後3時30分~  
4時30分

会場 荒川ふるさと文化館地下1階  
視聴覚室

対象 小学生以下50人(先着順、未就  
学児は保護者同伴)

費用 無料

申込方法 直接会場へお越しください

問合せ 南千住図書館 ☎(3807)9221  
荒川ふるさと文化館 ☎(3807)9234



第10回  
あらかわバラの市を開催

5月19日、第10回あらかわバラの  
市が開催されました。今年は節目の年  
であることから、都電町屋駅前周辺  
の会場に加え、「ゆいの森あらかわ」に  
隣接する芝生広場の2ヶ所で開催。

当日は、4300鉢のバラが販売され、  
多くの人々が色とりどりのバラを楽しん  
でいました。



▲あいさつをする西川区長

なりたい自分になる!  
「漫画家」  
になるために!

しやうらいのゆめ  
将来の夢  
インタビュー  
第2回

TVアニメ「あやかしお宿に嫁入りします。」  
コミック版を連載中の漫画家、  
衣丘わこさんが登場!

漫画家になりたいと思ったのは、いつごろですか?

4、5歳くらいから、父が持っていた漫画を読んだり絵を描  
いたりするのが大好きで、仏像の写真集を見て模写すること  
にもハマっていましたね(笑)。思えば、幼いころから「将来漫画  
家になろう」と思う環境ができていたんだと思います。いつの  
間にか、ごく当たり前前に漫画を描き始めていました。

漫画家になってうれしかったことはありますか?

うれしかったのは、自分の好きなことを仕事にできたことで  
す。漫画家になるまでは他の仕事も経験しました。それが作  
品を作るうえでの大事な糧にはなりましたが、「何があっても  
頑張ろう!」と心から思えた仕事は、やはり漫画家でした。

漫画家を目指す人たちにアドバイスををお願いします。

まずは、デジタルツールを使いこなしてパソコンで絵を描け  
るようになることが近道でしょうか。デビューするには出版社  
に投稿や持ち込みをするという方法以外に、イベントやSNS  
などで、自分の絵や漫画を発表できる場所をつくっておくこと  
も大事です。どこで編集さんの目にとまるかわからないので、  
発表できる場があれば、どんどん活用していきましょう。そし  
て、私が心がけていることは「継続は力なり」です。これが一番  
です!

衣丘わこさん

5月20日生まれ。大阪府出身。漫画家・イラストレーターとして活躍しており、代表作は『銀盤男子』全2巻(KADOKAWA)など。現在、『あやかしお宿に嫁入りします。』を連載中。

応援message

好きこそものの上手なれず! 衣丘わこ

あらかわ  
今昔ものがたり  
日 [あらかわの歴史と伝説]

野尻館長  
執筆/ 荒川ふるさと文化館 館長

その117 職人よもやま話⑪  
涼しさを作る扇子職人

今年も夏が近づいてきたね。東京の夏はとに  
かく暑い。夏を乗り切るには、お部屋のクーラ  
ー、扇風機、冷蔵庫など電化製品が欠かせない  
よね。

便利な電化製品はもちろん必要だけど、東  
京の夏を凌ぐための昔からの知恵があるよね。  
何々、電気を使わない環境にやさしい方法があ  
るって。どんな方法かな? 朝、道に水を撒く  
打ち水、日陰を作るための葭簀・緑のカーテ  
ン。そう良く知っているね。学校の授業で習っ  
たのかな。

伝統のクールビズ

ところで、日本の夏の過ごし方には、昔から  
涼しさを装い、楽しむという考えがあるんだ  
よ。例えば、花火大会には、朝顔や金魚、撫子  
など夏らしい柄の浴衣に、下駄を履いてお出か  
けをする。その時、身に付けるのが、涼しい風  
を送ってくれる団扇や扇子なんだ。今の言葉で  
言えば伝統のクールビズだね。

わざとデザインでより涼しく

扇子はね、東京の伝統工芸品の一つなんだ。  
京都の「京扇子」と区別するため「江戸扇子」と  
呼ばれている。何と、あらかわには5代にわた  
って、扇子作りをしている職人さんがいるんだ  
よ。扇子作りには、約30の行程があるんだ。  
扇面という扇型の紙を折り畳んだり、竹ででき  
た扇骨という棒を差し込んで取り付けたり、す  
べてを一人でこなす。時間をかけて一つずつ丁  
寧に作るんだって。すごいね。

それに扇子のデザインも、とても大切にしてい  
るんだよ。職人さんにこだわりの夏らしい文  
様を聞いたら、「三社網」「水割」「とんぼ」「絞  
小紋」なんかを教えてくれたよ。

7月6日(金)~8日(日)は「あらかわの伝統

技術展」(会場、荒  
川総合スポーツセン  
ター)。扇子の他に  
も夏らしい伝統工芸  
品を作る職人さんが  
出演するよ。みんな  
で見に来てね。



【問合せ】荒川ふるさと文化館 ☎(3807)9234